

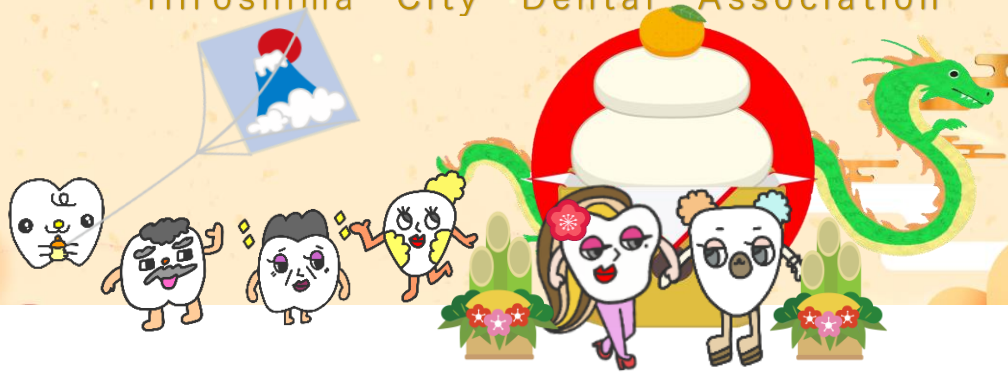
広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

1月号

No.201 (R6.1.16)



今年も広島市民の皆さまの健康のために頑張って参りましょう!!

行事報告

令和5年度 広島市学校保健会 第2回 歯科保健対策委員会	1
第5回 支部長・副支部長会議	1
広島市歯科医師会クリスマスパーティー	2
令和6年 広島市歯科医師会新年互礼会	3

支部だより

中区支部	3
南区支部	5
西区支部	8

ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について	8
インボイス制度について(～最終回～)(総務部)	9
ちょっと一息、その2～歯の発生と小唾液腺の発生は少し似ている～(学術部)	10
新年のご挨拶(厚生部)	11
～ハハ姉妹の学校ニュース《9時間目》「動物の歯の役割」～(地域歯科保健部)	12

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より -こんな医療トラブルが起こっています-(総務部)	12
今月の知っておきたいこと(広報部)	13
YouTube(広報部)	15
FMちゅーピー(広報部)	15
会長コラム『笑門來福』謹賀新年	16
12月定例理事会報告	17

会員ひろば

新入会員紹介	19
LINE公式アカウント 友達募集	19



LINE 登録をお願いします!!



行事報告

令和5年度 広島市学校保健会 第2回 歯科保健対策委員会

日時：11月30日(木)午後7時15分

場所：大手町平和ビル 5階「小会議室」

広島市域4歯科医師会、学校及び教育委員会の健康教育担当者などを集め、標記の会が開催された。本会より瓜生賢会長、細原賢一理事、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長、尾山奈々子同委員が出席した。

今年度より新たに同委員会委員長を務める瓜生会長は会議の冒頭で、おおよそ10年ぶりとなる保健調査票の調査項目の改訂について、実情に即した内容に改まるべく、しっかり検討して頂きたいと期待を込められた。続いて協議に移り、細原理事の進行で主に以下の項目を扱った。

1. 保健調査票の調査項目について
(1) 現在の調査項目について
(2) 今後の改訂スケジュール(案)について
(3) 他都市の調査項目との比較

2. 歯科検診の結果通知の様式について
3. その他

各項目について活発な議論、情報交換を行った。令和6年度から、広島市立の小中学校における健康診断は、校務支援システムによって記録し、結果通知にプリントアウトが可能となる。そのため、結果通知の内容の様式についても一部修正等を行った。

第5回 支部長・副支部長会議

日時：12月20日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事が出席した。始めに瓜生会長より「急に寒くなりましたが、体調はくずされておられませんでしょうか？今日は本年最後の支部長・副支部長会です。本日も慎重審議よろしくお願い致します」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 10月15日 第40回健康ソフトボール大会
- 10月18日 第4回支部長・副支部長会
- 11月7日 江波圏域多職種連携会議小委員会
- 11月9日 第4回吉島圏域在宅医療BCP勉強会
- 11月24日 新入会員面談
- 11月25日 江波圏域多職種連携会議
- 12月2日 中4班忘年会
- 12月14日 第5回吉島圏域在宅医療BCP勉強会

東区支部

- 10月15日 第40回健康ソフトボール大会
- 10月18日 第4回支部長・副支部長会
- 10月20日 在宅医療研修会
- 10月25日 フェイスネット「TRITRUS」講習会

- 10月26日 二葉圏域 医療と介護・地域の多職種連携会議
- 11月10日 牛田圏域 東区在宅サポート研修会
- 11月17日 東区地域保健対策協議会
第2回在宅医療・介護連携推進委員会
第2回常任理事会
- 11月20日 救急蘇生講習会
- 11月26日 東区市民公開講座

南区支部

- 10月15日 第40回健康ソフトボール大会
- 10月18日 第4回支部長・副支部長会
- 10月19日 南区認知症初期集中支援事業研修会
- 11月7日 南区地域医療医歯薬連携研修会
- 11月15日 翠町包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

- 11月20日 南区の在宅医療連携を考える研修会
- 12月6日 南区在宅医療・介護関係者危機管理研修会
- 12月15日 南区医師と訪問看護ステーションとの在宅医療連携研修会

西区支部

- 10月15日 第40回健康ソフトボール大会
- 10月18日 第4回支部長・副支部長会
- 10月24日 新入会員面談
- 10月27日 西区支部例会・講演会
- 11月5日 第39回西区民まつり
- 11月17日 新入会員面談
- 11月22日 在宅医療・介護連携西区地域保健対策協議会講演会

- 11月25日 かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 12月9日 西区支部例会・忘年会

執行部

- ・令和5年10、11月分の休日診療保険請求における留意事項について
- ・その他

協 議

- ① 中 区
 - ・保険証に代わるマイナンバーカードの使用について
- ② 執行部
 - ・広島市歯科医師会からの連絡方法についての調査について

==== 広島市歯科医師会クリスマスパーティー ====

日時：12月23日(土)午後6時

場所：ANAクラウンプラザホテル広島 3階「オーキッド」

恒例の標記の会の今年の演目は「松浦航大クリスマスショー」で、会員、家族、スタッフを含め会場のほぼ満席となる436人が出席した。

瓜生賢会長の挨拶に続き、熊谷宏顧問が乾杯の発声を行った。美味しいフレンチ料理に舌鼓を打ちながら、抽選会が始まり、豪華な景品が当たる度に歓声が上がり会場は大いに沸いた。



その後、数多くのテレビ番組にも出演、変幻自在の七色ボイスで『ものまね界』に旋風を起こしている松浦航大氏のショーが始まった。平井堅、米津玄師など名曲の数々を抜群の音量、歌唱力で披露、来場者を圧倒した。会場は大いに盛り上がり、成功裏に終わった。

厚生部では令和6年も様々な福利厚生事業を予定しているので奮ってご参加ください。



(左) 瓜生賢会長の挨拶 (右) 抽選会の様子

令和6年 広島市歯科医師会新年互礼会

日時：1月6日(土)午後5時

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

森本慎樹専務理事の司会のもと標記の会が開催された。能登地震で亡くなった方へ黙祷を捧げた後、幕があがると太鼓本舗かぶら屋による和太鼓の迫力ある演奏に圧倒された。

国歌と本会会歌の斉唱の後、瓜生賢会長から新年の挨拶があった。続いて山崎健次県歯会長、岸田文雄内閣総理大臣から祝辞(岸田首相は田辺博之秘書代読)を頂いた。平口洋衆議院議員、石橋林太郎衆議院議員(代理吉岡広小路秘書)、宮沢洋一参議院議員(代理小川修一秘書)、松井一寛広島市長、中本隆志広島県議会議長、緒方直之広島県議会副議長、林大蔵広島県議会議員、山木茂広島県

議会議員、永田雅紀広島市議会議員、山路英男広島市議会議員、林正夫広島県歯科医師連盟顧問、三好早苗広島県歯科衛生士会会長、目見田正規広島県歯科技工士会広島支部支部長らの来賓の紹介、鏡開きに続いて、松井市長による乾杯の発声があり、祝宴が始まった。

ケータリングサービスでの食事を取りながら、会員相互で新年の挨拶を交わした。宴の途中、高木尚美氏、河村道彦氏、野村純平氏、坂上泰士氏、浅野真弥氏の新入会員の紹介があった。

閉会の辞を能美和基副会長が述べ、閉会した。



(左) 挨拶をする瓜生賢会長 (右) 鏡開きの様子

支部だより

中区支部

国泰寺地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：10月12日(木)午前10時

場所：「本川広瀬集会所」

広島市国泰寺地域包括支援センター主催の介護予防教室が開催され、光山素夫地域歯科保健部委員が「健康寿命のためにお口に注目」と題して地域の住民11名に対して講演を行った。

講演では、まず要介護状態の前にフレイルとされる状態があること、そのフレイルの中でもオーラルフレイルは比較的早期に見られ、これを放置すると低栄養からフレイルが進みうること、逆に適切にオーラルフレイルに

介入することでフレイルの進行を遅らせ、健康寿命の延長に寄与しうることを説明した。

また、オーラルフレイルの予防、改善として残存歯牙の本数、臼歯部の咬合支持域が肝要であると説明し、歯科医師会として8020運動を提唱していること、もし達成できなくとも欠損補綴により口腔機能の回復、維持が可能であることを解説した。

次にオーラルフレイルの種々の症状、その中でもむせは肺炎の原因になりうることを伝え、予防のためにペコ

ぱんだを用いた舌圧トレーニング、オーラルディアドコキネシスを紹介した。以前は飛沫感染予防の観点から控えていたが今回はペコぱんだを参加者にも体験してもらい、舌の力の重要性を理解されたようで製品にも興味を示された。

最後に歯牙を守ること、誤嚥性肺炎の予防の観点からブラッシング、フロッシング、歯間ブラシを併用した口腔ケアの重要性を解説し、義歯の管理方法についても触れた。

令和5年度 中4班忘年会

日時：12月2日(土)午後6時30分

場所：広島国際ホテル 2階「芸州」

標記の会が開催された。

新型コロナのパンデミックにより、4年ぶりの開催となった。懐かしい顔が集う中、終始和気藹々とした雰囲気であった。

冒頭、花木清隆氏の挨拶が行われ、来賓として出席している波田佳範支部長の乾杯の音頭により、宴がスタートした。

懐石料理に舌鼓を打ちつつ、コロナの頃の話や、今年一年間に起きた話題などで大いに盛り上がった。

最後は、参加者全員で記念撮影を行い、お開きとなった。

第5回 吉島圏域在宅医療BCP勉強会

日時：12月14日(木)午後6時

場所：「おひさま脳神経外科・歯科」

標記の会が開催された。

この勉強会は、厚生労働省からの委託事業であり、高橋浩一折口医院医師を座長に据え、自然災害発生時に吉島地区在住の住民に対して、医療機関としてどのような対応ができるのかを検討し、勉強していく趣旨のものである。

今までにも様々な業種を呼び、いろいろな情報を得たり、吉島地区の町内会長並びに防災担当の役員を招いて、意見交換をしていたのではあるが、今回は医師、歯科医師限定の勉強会となった。

この度のテーマは「自院のミッション、理念。地域にどんな貢献ができるか」という内容のもとで、自然災害

質疑応答では「歯ブラシの硬さは柔らかいほうがいいのか?」「食後すぐに磨かないほうが良いと聞いたことがあるが?」など、多くの質問があり地域住民の口腔内への関心の高さが伺え、本講演は盛況のうちに終了した。

本会ではこのような介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することにより、短期集中通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みを行っており今後も高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。



忘年会に参加した中区支部会員

が発生した際に各医療機関の安否確認をはじめ、医療機関の連携をいかに行うのかが討議された。そして、忘れてはいけないのは被災時には、医療従事者も被災者の立場であるということである。

そういう状況下で被災者に対して診療等がどうなされるべきか、避難所が開設されて、DMATなどが派遣された際の協力体制など、多岐にわたる内容で熱心な議論が行われた。

なお、この勉強会には中区支部より波田佳範支部長、小松大造氏、辰本将哉氏、野村純平氏が参加した。

広島市仁保・楠那地域包括支援センター 介護予防教室

日時：10月13日(金)午後1時30分

場所：仁保オレンジカフェ（仁保公民館 2階「大集会室」）

標記の会が開催され、林内優樹地域歯科保健部委員が「お口の健康が元気の源！」と題して、仁保・楠那地域の住民53名(高齢者)に対し講演を行った。

まず初めに、超高齢社会に伴って増加しているオーラルフレイルについて、全身の健康に対する咀嚼・嚥下機能の重要性を交えて基礎的な知識を説明した。そして、口腔機能の役割、フレイルとオーラルフレイルの関係をイラストや動画を用いて解説した。

その後、口腔機能の維持・向上のためにはペコぱんだ、パタカラ体操、嚥下おでこ体操をはじめとしたトレーニングが有効であることを説明し、実際にペコぱんだを使用して舌圧を鍛えるトレーニングを参加者とともに行った。

最後に広島市の介護予防事業である短期集中通所口腔ケアサービス及び歯科医療福祉対策協議会の在宅訪問歯科健診・診療事業を紹介した。

本会では、今後もフレイル予防の第一歩としての介護予防教室等を通じて地域住民に口腔機能の重要性を周知し、健康寿命の延伸につながる活動を行っていく予定である。



講演の様子

段原地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：10月27日(金)午後2時

場所：「広島市東雲老人福祉センター」

広島市段原地域包括支援センター主催で標記の会が開催され、中川誠地域歯科保健部副委員長が「身体の健康はお口から」と題して地域の住民13名に対して講演を行った。

講演では、舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説し、ペコぱんだを用いての舌圧トレーニングを出席者全員で行った。舌圧の客観的な評価方法として舌圧測定器があり、舌圧を数値化することができるためトレーニングの意欲向上にもつながることを紹介した。またオーラルディアドコキネシスについても解説を行ったが、飛沫感染予防の観点から発声は行わず、各年代における平

均発音回数をタイマー音で体感していただいた。出席者からは特に「カ」の発音が難しいという感想を得た。

最後にフレイルについての解説を行い、かかりつけの歯科をもち定期的にチェックしてもらうことでオーラルフレイルの早期発見をすることができ、低栄養やサルコペニアの予防そして健康寿命の延伸へとつながることを理解して頂いた。

本会地域歯科保健部は介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することによって、通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みを行っている。今後も高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。

令和5年度 南区在宅医療・介護連携推進事業 南区在宅医療・介護関係者 危機管理研修会 「在宅療養者の救急搬送における消防と医療・介護の連携」

日時：12月6日(水)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記の会が開催され、南区の医療・介護関係者および広島市南消防署救急隊員が多数出席した。野島秀樹南区地域保健対策協議会理事が司会進行を務め、佐藤貢南区地域保健対策協議会副会長の開会挨拶があり講演へと移行した。

講演では「在宅療養者の救急搬送における現状、取り組み、課題」と題して清水英晶広島市南消防署宇品出張所宇品救急隊副隊長より、広島市消防局の救急体制について紹介があり、救急活動の流れ、その際の課題、患者様に携わっている方々への要望などが取り上げられた。

続いてグループワークでは「在宅療養者の救急搬送における課題」について話し合わせ、付き添い、救急隊を呼ぶか呼ばないかの判断、機器の取り扱い、本人拒否などの課題が抽出され解決策にむけての活発な意見交換が行われた。

最後に田中憲南区在宅医療介護連携推進委員会委員による閉会の挨拶で終了となった。歯科も在宅歯科診療において救急搬送が必要となることも考えられるため、救急搬送の知識を深め、救急隊との横のつながりを大切にしていかなければならないと感じた。

なお南区支部より周藤巧氏、高橋兼一郎氏、中川誠氏が参加した。



南区危機管理研修会 グループワークの様子

令和5年度 南区支部忘年会および長寿を祝う会

日時：12月6日(水)午後7時30分

場所：安芸茶寮 2階「大広間利休」

標記の会が伊藤良明氏の司会により、31名の参加で開催された。

まず、竹田茂支部長の開会の辞に始まり、来賓としてお招きした瓜生賢会長、広島県立病院歯科・口腔外科の桐山健先生、神田拓歯科主任部長より挨拶をいただいた。

続いて新入会員紹介を行い、高木尚美氏、坂上泰士氏が紹介された。

その後、長寿を祝う会に入り、米寿：植田寛治氏、喜寿：内藤文政氏、三上浩生氏、古希：小早川靖氏、石川潔氏、藤田和也氏、山田哲郎氏、和田本城氏、杉原隆英氏、以上のお祝いを行い、代表として小早川氏と石川氏に記念品を贈呈した。

さらに、ソフトボール大会の結果を橋岡優主将が報告し、来年の大会に向けて決意を表明した。その後、田中政博氏の乾杯の音頭でにぎやかに忘年会が始まった。

南区忘年会は4年ぶりの開催であり、みな、楽しく親睦を深めていった。

なお、本会より瓜生会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事に出席いただいた。



忘年会に参加した南区支部会員と三役

令和5年度 南区医師と訪問看護ステーションとの在宅医療連携研修会

日時：12月15日(金)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記の会が、広島市南区在宅医療・介護連携推進事業の一貫として開催された。

今回の研修会は、「摂食・嚥下障害のある在宅患者への支援について」がテーマであった。南区の医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員等多職種が参加した。

上綱雅一広島市南区医師会理事の開会挨拶の後、事例紹介として、野島秀樹野島内科院長、訪問看護ステーションかがやき南毛利加奈氏から患者の現状説明があった。

次に、竹田茂本会南区支部支部長より「歯科と連携して在宅の摂食・嚥下障害患者を支援しよう」のレクチャーがあった。

その後、在宅における摂食・嚥下障害患者に、オーラルフレイルを防止する上で、それぞれの職種の立場から

の困り事、連携ができているか等のグループワークが行われた。

そして、中川誠地域歯科保健部副委員長から、現状として摂食・嚥下障害の支援は、結果がみえない、現状維持であるとの話があった。

最後に、松本恭子広島県看護協会広島南支部副支部長から閉会の挨拶があり、研修会は終了した。

オーラルフレイルの症状はフレイルの初期に出現し、老化のサインとも言われている。そのため、オーラルフレイルを早期に発見することが重要であり、歯科医師と医師、看護師、介護支援専門委員等が連携していくことが、これからの課題であることが分かった。

なお、南区支部より、竹田支部長、小田正秀氏、高橋兼一郎氏、中川誠氏、平井由美氏、山本眞理子氏が参加した。



(左) 研修会の様子 (右) レクチャーをする竹田茂支部長

令和5年度 西区支部例会及び忘年会

日時：12月9日(土)午後6時30分

場所：「木松旅館」

標記の会が松原博久副支部長が司会を務め、平尾慶太支部長の挨拶とともに開催された。

支部例会では各報告(10~12月の出務、支部長・副支部長会、年末救急医療実施医療機関(12月30日：山崎歯科医院 山崎香氏、12月31日：引地歯科医院 引地渉氏)、新規入会予定者の承認など)があった。新規入会予定の横山真樹氏、藤原由起子氏については出席者全員一致で承認された。

忘年会では本会から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長をお招きし瓜生会長より挨拶で始まり、その後伊藤茂氏より乾杯の挨拶があった。また開会に先立ち出席者全員で集合写真を撮った(浅川隆司氏撮影)。宴会中には新規入会者(楠橋由規氏、八谷文貴氏、浅川氏、井口早織氏)の紹介があり、会食と余興のビンゴゲーム(司会:堀健太郎氏、進行補助:柄博紀氏)が行われ、和気

藹々とした穏やかな時間が過ぎ午後8時30分に小跡清隆氏の挨拶で閉会となった。

次回の西区支部会は令和6年2月15日(木)午後7時30分から木松旅館で開催されます。会員の方におかれましては奮ってご参加ください。



忘年会に参加した西区支部会員と二役

ちょっとイイ話



耳寄り情報

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。



大井手和久 理事

- ・感染根管処置でレントゲンの撮影のないものがありました。特段の理由がない限りレントゲンの撮影をお願いします。
- ・Br 再仮着でう蝕処置の算定がないものがありました。暫間処置はう蝕処置算定可能ですのでご注意ください。
- ・CAD 冠装着に際して内面処理を算定するものの、内容記載がないものがありました。サンドブラスト処理セラミックプライマー等の内容記載をお願い致します。

インボイス制度について(～最終回～)

今回を含め 4 回に渡りインボイス制度の概要と歯科医院に関わる項目について、渡す側と受け取る側に分けて記載させていただきました。インボイス制度という言葉は耳にするものの、未だに情報が不足しているかと思います。インボイスを受け取ることが多い歯科医院、受け取ることも発行することも多いディーラー、ラボ、そしてサポートする税理士事務所のいずれにとってもメリットがあるわけではないため、対応が難しくなっていることが考えられます。



周藤巧委員

しかし、インボイス制度そのものは、適正税率と消費税額の透明性の目的のほか、益税問題への対応という面もあるため、一時の煩雑さはあっても廃止や再検討の見込みは薄いように思われます。

歯科医院にとって大きな変更はありません。

インボイス登録が必要な医院にとって以下の3つの項目が重要だと思われます。

- 1) あらかじめインボイス事業者として登録しておく
- 2) 患者さんには手書きの領収証を空欄なく渡す
- 3) 家賃のインボイスを大家さんに依頼する

以上のことだけでほとんどの歯科医院にとってインボイス対策になります。

また私の経験談ですが、日々の領収書を保管するときに折り曲げて財布の中等に入れたままにした際に、インボイス番号が折り目に当たってしまったりすると、機械で読み込めなくなり手間が増えてしまい、顧問税理士より注意を受けてしまった経験があります。個人的には領収書の管理も今までより注意が必要になると考えています。

参考文献：アポロニア 2023.9 月号
国税庁の特設サイトホームページ



ちょっと一息、その2～歯の発生と小唾液腺の発生は少し似ている～

前回はサメ肌の正体は小さな歯の集合体だったという話をしました。今回はヒトの歯に注目しますが、ちょっと一息なので寄り道を致します。



小早川尚史委員長

口腔粘膜の粘膜下層に、多数の小唾液腺が発達しています。その小唾液腺の発生はどのような手順で行われるのでしょうか。今回はそんな話です。

小唾液腺はいずれも粘膜上皮が局所的に増殖して出来た上皮索が、間葉に向かって落ち込んだ(侵入した)ものです。その先端部(終末部)が特に分化して唾液の分泌細胞となります。終末部から連続する上皮索はその中心部にいる細胞が、細胞の自死であるアポトーシスを伴って管腔を形成します。その結果、唾液の排出路としての導管が完成します。

これらが小唾液腺の大まかな発生順序ですが、歯の発生も似たような経過をとります。即ち、歯の形成にあたっては、上顎突起と下顎突起の歯の形成予定域での粘膜上皮の肥厚が起点となります。粘膜上皮の肥厚が間葉へ向けて陥入を始め、次いでその頂部が間葉との相互誘導を起こすことによって、タンパク分泌型細胞へと分化を起こします。これに呼応して対向する間葉でもタンパク分泌型細胞への分化が進行して、両者が互いの界面に向けて固有の基質を分泌するようになります。ヒトでは最初の兆候は胎生6週で、その頃に上顎突起と下顎突起の一部で、粘膜上皮の増殖が活発化し、帯状の肥厚が生じます。

発生学上、歯とはこのようにして上皮と間葉に貯留した分泌物が、二次的に石灰化したものにはならないそうです。そして、この上皮と間葉で構成される歯の形成ユニットのことを私たちは歯胚と呼んでいます。

※この文章は口腔組織・発生学 第二版(2023年1月20日第十刷発行)を参考にさせていただきました。

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年の広島市歯科医師会クリスマスパーティー(以下、クリスマスパーティー)ではコロナ禍前に ANA クラウンプラザホテルで行われた時の参加人数を超える 436 名の方々にご参加いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



横村康彦委員長

厚生部としての最初のクリスマスパーティーはコロナ禍のため、紙面上でのクロスワードパズルや川柳大会、写真コンテストを行い、景品を皆様にお配りするという変則的な開催でした。コロナ禍以前の ANA クラウンプラザホテル開催に戻って大勢の方々と一緒にクリスマスパーティーを執り行う事ができて大変うれしく思っております。2024 年のクリスマスパーティーでも皆様に喜んで頂けるようなゲストと豪華な景品を取り揃えてお待ちしております。

さて、今年は「太鼓本舗かぶら屋」による和太鼓パフォーマンスなど大盛り上がりの新年互礼会でした。ご参加いただいた皆様と今年 1 年の良いスタートを切れたのではないのでしょうか。


厚生部は 2024 年の福利厚生事業として、スタッフや家族と参加できる恒例のクリスマスパーティーやカープ観戦の他に中央公園に出来た新しいスタジアムでのサッカー観戦、そして厚生部が立ち上げの時から温めていたバスツアーを計画しております。

歯科医師会として催すイベントでは個人ではなかなか入手できない席から観られるスポーツ観戦や普段できないような体験を企画しております。参加されたことの無い先生も大歓迎です。歯科医師会のイベントを通じて皆様の交流が広がるよう、我々厚生部一同精進してまいりますので今年も宜しくお願い致します。

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより 1 ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！





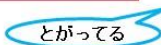

デジタル版《9時間目》

広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

動物の歯の役割

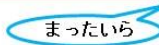

動物の歯には、食べ物を噛み砕くという人間と同じ役割のほかに、物をくわえて運んだり、敵を攻撃して獲物をつかまえたり、身をまもる武器としての役割があります。また、動物の歯は食べ物と密接な関係があり、主に何を食べるかによって大きく3つに分けられます。

肉食動物の歯



肉を主食とする肉食動物は、肉を引き裂いたり、骨もかみ砕いたりするため、すべての歯がとがっています。敵を攻撃するときにかみつき離さない力も必要のため、あごの力も非常に強くなっています。

草食動物の歯

草などを主食とする草食動物は、草を引きちぎったり、すりつぶしたりできるように、平らな歯をしています。硬い草も時間をかけてゆっくりとすりつぶせるような形をしています。


雑食動物の歯

肉や草、また木の実でも何でも食べる雑食動物は、肉食動物と草食動物の歯の特徴をあわせもっています。人間も何でも食べる雑食動物の仲間です。どの歯がどんな特徴を持っているかよく観察してみましょう。

歯医者さんからのメッセージ

鏡を見て、自分の歯を観察してみましょう。前歯は薄く、かみ切るのに役立ちます。奥歯はすりつぶせるよう平らな形をしています。前歯は前歯の、奥歯は奥歯の役割がそれぞれあります。全体をバランスよく使うことで、かみ合わせもバランスが取れるのです。偏ったかみ方にならないよう注意しましょう。



8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

松村英朗先生

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部 松村英朗先生他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDFは下記URLまたはQRコードよりダウンロードください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ーこんな医療トラブルが起こっていますー

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例：クリーニング中の修復物の脱離について

歯科衛生士がクリーニング中に誤ってインレーを脱離してしまいました。謝罪もなく治療を希望したが断られたので、他の歯科医院を紹介して欲しい。

(センターの対応)

他の歯科医院を紹介する事は可能であると説明した。

(コメント)

起きてしまった偶発症には真摯に対応し、今後の治療方針についてしっかりと説明しましょう。



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QR コード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

「歯科技工士アンケートの結果」の速報版の結果を公開 歯科技工所の深刻な状況は改善できるのか

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2950>

東京歯科保険医協会は、東京都内に所在する歯科技工所に対し実施した「歯科技工所アンケート」の結果を公表した。このアンケートは、CAD/CAM 冠やインレー、チタン冠など高額な設備投資が必要である歯科技工物や、歯科技工所の経営状況、歯科技工所が置かれている厳しい状況について改めて確認するとともに、歯科技工士問題の解決に向けた基礎資料を作成することを目的に実施された。その結果、歯科技工所の経営は「採算が合わない」と6割が回答し、半数が歯科技工所の閉所を考えたことがあることがわかった。CAD/CAM 冠や



チタン冠を受注していない歯科技工所は、「設備投資が厳しい」や「採算が合わない」との意見が多く挙がった。考察

現状のままでは、歯科技工士がほとんどいなくなる可能性もあり、そうなれば保険診療の40%程度を占める歯冠修復、欠損補綴に関わる治療の提供が難しくなり、我々歯科医師にも大きな影響を及ぼします。このアンケートは行政などへの要請活動に活用されるとのことですので、少しでも状況が改善されることを願います。



柄博紀委員

健康保険証、2024年12月2日に廃止しマイナ保険証に「一本化」…閣議決定

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20231222-OYT1T50107/?catname=news-kaisetsu_news

政府は22日午前、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止する政令を閣議決定した。現行の健康保険証の新規発行が停止され、マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」に事実上、一本化する。

同日以降は、すでに発行済みのもので、有効期限内であれば最長1年間は使用可能だ。マイナカードを持っていない人については、「資格確認書」を発行して対応する。



考察

今まで必ず使用していた保険証が実際に廃止になると、受診時にマイナンバーカードを忘れていたり、そもそも作っていなかったりと患者さん側も混乱すると思いますが、医療機関側も現行保険証の期限を見誤ったり、と受付時の混乱も予想されます。これまで以上に患者さんの身分証明に関して注意が必要になると考えます。



小林裕子副委員長

「くさくならない入れ歯」を細菌学者が開発 口臭や誤嚥性肺炎の予防に期待！ 細菌の増殖を抑える静菌義歯

<https://dot.asahi.com/articles/-/208332>

平成28年歯科疾患実態調査によれば、入れ歯を装着している人の割合は60代から徐々に増え、80代以降では約半数近くが総入れ歯である。こうした入れ歯の大きな悩みの一つが、「におい」。また、入れ歯は毎日きれいに洗わないと細菌が繁殖し、誤嚥性肺炎が起こる危険性が高まる。このような問題の改善策として、細菌の増殖を抑



える働きを備えた「静菌義歯」が浜田信城神奈川歯科大学分子生物学講座口腔細菌学分野教授によって開発された。「酸化亜鉛」を特殊加工した材料、アドックス社の「AD-PSJ」をレジンに含有させることで、歯周病菌やむし歯菌といった口腔内の悪玉菌の繁殖を抑える一方、善玉菌の働きは保ってくれるという、バランスの良い静菌作用が期待できるという。さらに、AD-PSJを添加したレジンでは、添加しないレジンに比べ臭いの元となる

メチルメルカプタンの検出量が非常に少なく、大きな消臭効果が認められる。現在、静菌義歯は一部の患者に自費治療として処方されているが、データを蓄積し、保険収載を目標に、先の課題にも取り組んでいきたいという。考察

診療をしていると、高齢の患者さんで義歯のプラーク付着がひどく、誤嚥性肺炎を心配するケースを多くみる。もちろん義歯清掃の指導は行うが、高齢者は手も不自由になってきてなかなか改善できないのが現状である。こういった患者さんに対して、「静菌義歯」が一般に広まり、保険適用になれば、高齢者の口腔内から全身へのト

ラブル解消へ大きく役立つでしょう。また、「AD-PSJ」はインプラントへの応用も研究を進めていきたいとのことで、インプラント周囲炎への予防も期待されます。口腔内に使用する材料の進歩は、少なからず寿命に影響を与えらると思うので、今後の研究に期待したいです。



永井亮委員

デジタルコピー入れ歯、高知県地場産業大賞に 入れ歯の形状を 3D データ化、迅速に再現

南日本新聞 2023 年 12 月 21 日

<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/708137>

高知発の優れた製品や技術、地域活動をたたえる第 38 回地場産業大賞が 20 日発表され、歯科材料メーカー、ヤマキン(香南市)の「地域の歯科技工士がつくるデジタルコピーデンチャー」が大賞に輝いた。入れ歯の形状を 3D データ化して保管し、不具合などの際はデジタル技術を活用して高品質なスペアを迅速に作る新技術。不足する歯科技工士の負担軽減につながる点などが評価された。



歯科技工士不足を救う「ヤマキン」の新技術

考察

一般にコピーフラスコとアルジネート印象材、即重レジンを用いて製作されるコピーデンチャーですが、表彰された新技術は 3D データを基に、切削加工機でポリカーボネートのブロックから形状を正確に再現し、摩擦しにくいコーティング材で着色します。即重レジンを用いる従来法に比べて物性も良さそうです。

コピーデンチャー製作の一法となるかもしれないだけでなく、将来的には CAD/CAM 義歯も普及するかもしれません。



三保浩一郎委員長

年収の壁(130 万円の壁)対策がスタート！パートやアルバイトはどうなる？

<https://www.gov-online.go.jp/article/202312/entry-5288.html>

パートやアルバイトで働く人の中には「もっと働きたいけれど、年収が一定の水準を超えると年金や医療など社会保険料の負担が発生して手取り収入が減ってしまう」「年収が増えると扶養から外れてしまう」といった理由で、働き過ぎないようにしている人も多いでしょう。このように、社会保険料の負担が増えないように年収を抑えようと意識する金額のボーダーラインが、いわゆる「年収の壁」です。この問題に対応するため、令和 5 年(2023 年)10 月から「年収の壁・支援強化パッケージ」が始まりました。



考察

我々の職場における歯科助手、衛生士、技工士のパート勤務問題には年収の壁が存在しています。それがいわゆる 130 万円の壁と言われ、被扶養者が 130 万円以上の収入があった場合、社会保険料の支払いが必要となり、結果として収入が減ってしまうこととなります。

昨今の価格高騰による時給の値上げにより、勤務時間が圧迫されていることでしょう。そこでこの制度は勤める人間、雇う人間にとって有意義な制度となっています。しかしこの制度にはあいまいな部分があり 130 万以上と言っても扶養者の健康保険組合によりその上限額はまちまちであるようです。一度スタッフの扶養者の健康保険組合にお尋ねください。



小島将督理事



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

11月1日放送分

「スポーツマウスガードの役割」

土屋崇文氏

<https://x.gd/xxz0Z>



11月15日放送分

「歯磨きを怠った結果は」

谷巖範氏

<https://x.gd/GF8wX>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

1月17日放送分

「フッ素で虫歯を防ごう」

柄慎太郎氏



虫歯の原因は砂糖だけではありません。炭水化物などの食事にも多く含まれる発酵性糖質というものもあります。これらを含む飲食物のダラダラ食べ・飲みを少なくしましょう。また、フッ素は歯をコーティングする効果があります。ぜひフッ素配合歯磨き粉を使用してください。その後のうがいのひと工夫で大きな効果が得られます。定期的に歯科を受診して、お口の状態を良好に保ちましょう。歯科医師の柄慎太郎さんが話します。

1月31日放送分

「知覚過敏の原因は」

田中信吾氏



「冷たい物や甘い物を口にしたとき、キーンとしみるのはなぜですか」というリスナーからの質問に、歯科医師の田中信吾さんがお答えします。このような症状を知覚過敏といいます。今回は知覚過敏の原因や治療法、日ごろから気を付けておきたいことなどを話します。

新年あけましておめでとうございます。

令和6年最初の会長コラムは、先日行われた新年互礼会での私の挨拶をそのまま掲載させて頂きたいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

新年、あけましておめでとうございます。

先生方におかれましては、令和6年の新春をつつがなくお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。今年の新年互礼会はようやくコロナ禍も落ち着き、こうしてご来賓に錦上花を添えて頂き、例年通りに開催することができる運びとなったこと、大変うれしく思っております。しかし年始早々、北陸の大地震や航空機事故などのニュースが飛び込み波乱の幕開けとなった感もございます。犠牲者の皆様に心より哀悼の意を表します。さて、今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」です。甲(きのえ)は十干の中で最初にくる干でありまして、第一位、優勢であることを表すほか、真っ直ぐに堂々とそそり立つ大木を意味すると言われております。また「辰」は十二支のなかでは唯一架空の生き物であります。水

や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、古来より「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。このふたつの組み合わせである「甲辰(きのえ・たつ)」には「成功という芽が大きく育ち、立派に姿を整えていく」といった縁起の良さを表していると言えます。

昨年は世界情勢の不安定さ等に起因する物価高、とりわけ、電気料金や医療材料、薬品の高騰に悩まされた1年でした。また、医療・介護・福祉のトリプル改定を目前に控え、我々の業界も未だ不透明さを残したままの年明けではございましたが、今年は龍の如く猛々しく難局を打破し、大きく飛翔する年にしていきたい、そのように思います。現執行部も就任して半年が過ぎました。今日まで目の前の

会長コラム (第7回)

笑門來福

謹賀新年

瓜生 賢

ことを、こなししていくのに精一杯ではございましたが、今年は2月・3月と各種講演会を用意してございますし、手軽に参加できるとご好評を頂いていたオンライン講演も再び手掛けていきたいと思っています。スポーツ観戦等の福利厚生事業についてもこれまで以上に力を入れて参ります。広島市歯科医師会執行部は、全国を見渡してみても稀に見る若くて勢いのある執行部であると自負しております。我々は総力を上げ龍の如き勢いでこれからの時代を切り開いていく覚悟でございます。どうか会員の先生方おひとりおひとりのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和6年甲辰の新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月定例理事会報告

「部外報告」

- 11月23日 広島大学歯科矯正学谷本幸太郎教授就任10周年記念祝賀会
- 11月24日 カーブ歯科健診
- 11月25日 かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 11月28日 災害の発生に備えた「通信伝達訓練」の実施(MCA無線動作確認)
- 〃 第2回「元気じゃけんひろしま21(第3次)」策定懇談会
- 11月28日 個人面談
- 11月29日 個人面談
- 11月30日 令和5年度広島市学校保健会専門委員会第2回歯科保健対策委員会
- 12月1日 【Web】令和5年度第2回広島圏域地域医療構想調整会議
- 〃 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 〃 国保組合理事会
- 12月2日 広島市歯科医療福祉対策協議会学術講演会(安佐歯科医師会担当)
- 12月8日 (県歯)会員サポート室会議
- 〃 (県歯)理事会
- 12月12日 個人面談
- 12月14日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 12月15-19日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 12月16-21日 社会保険診療報酬支払基金審査
- 12月18日 個人面談
- 12月19日 個人面談
- 12月21日 新規個別指導立会

(連盟関係)

- 12月20日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会

「総務関係」

- 12月5日 地域包括支援センター職員と地域の歯科医師を対象とした研修会及び意見交換会
- 12月6日 南区支部忘年会
- 12月9日 西区支部忘年会
- 12月11日 広報部忘年会
- 12月15日 地域歯科保健部忘年会
- 12月20日 第5回支部長・副支部長会(終了後懇親会)
- 12月22日 上期決算下期見込報告
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー
- 12月25日 三役会
- 12月27日 定例理事会

(慶弔関係)

- 12月15日 中区支部 後藤眞也先生ご母堂様ご逝去

(入会退会関係)

- 12月1日 入会前面談(西本聖先生)
- 12月26日 入会前面談(室積幸奈先生)
- 〃 入会前面談(岡崎朋子先生)

(県歯理事会関係)

- 12月8日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (大井手理事)

- 11月28日 休診レセプト点検
- 〃 定例委員会
- 12月1日 入会前面談(西本聖先生)
- 12月13日 (県歯)医療管理部委員会
- 12月15日 定例委員会
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー
- 12月26日 入会前面談(室積幸奈先生)
- 〃 入会前面談(岡崎朋子先生)

(2) 学術部 (花岡理事)

- 11月23日 広島大学歯科矯正学谷本幸太郎教授就任10周年記念祝賀会
- 12月8日 定例委員会
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

(3) 厚生部 (谷理事)

- 12月1日 県立広島病院医局会主催忘年会
- 12月5日 厚生部委員会
- 12月6日 クリスマスパーティー打合せ
- 12月13日 (県歯)福祉厚生・育成部常任委員会
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

(4) 地域歯科保健部

- 11月24日 カーブ歯科健診
- 12月5日 地域包括支援センター職員と地域の歯科医師を対象とした研修会及び意見交換会
- 12月15日 定例委員会
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

<地域保健> (土屋理事)

- 11月27日 令和5年度第4回広島市障害者施策推進協議会
- 12月1日 県立広島病院医局会主催忘年会
- 12月26日 アトラクトワンとの打合せ

<地域連携> (藤田理事)

- 11月25日 かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 11月30日 西区介護認定審査会
- 12月7日 後期高齢者歯科健診協力医個別研修
- 〃 西区介護認定審査会
- 12月8日 オーラルフレイル普及モデル事業(令和6年度)検討委員会
- 12月11日 【Web】令和5年度第2回広島市西区医療介護連携推進委員会
- 12月14日 西区介護認定審査会
- 12月15日 令和5年度第9回広島市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会
- 12月21日 西区介護認定審査会
- 12月22日 広島市在宅医療・介護連携推進委員会第2回専門委員会

<学校保健> (細原理事)

- 11月27日 市教委と打合せ
- 11月30日 令和5年度広島市学校保健会専門委員会第2回歯科保健対策委員会
- 12月8日 令和5年度広島市学校保健会専門委員会(会報編集委員会)

(5) 広報部 (小島理事)

- 12月5日 校正委員会(だより12月号)
- 12月15日 FMちゅーピー収録
- 12月23日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー
- 12月26日 ホームテレビとの協議

FMちゅーピー (放送日)

- 1月17日 「フッ素で虫歯を防ごう」
広島市歯科医師会 柄 慎太郎氏
- 1月31日 「知覚過敏の原因は」
広島市歯科医師会 田中 信吾氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,584 (累計 131,818)
 ページビュー 20,136 (累計 1,571,554)
 会員サイト 訪問者 179 (累計 30,471)
 ページビュー 621 (累計 292,255)
 LINE公式アカウント 登録者数12月15日 137名

(7) 特別委員会

- 12月27日 新興感染症対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)
中区支部の濱本結太氏、西区支部の横山真樹氏、藤原由起子氏の入会について承認
- (2) 会費について
協議に該当する案件無し
- (3) 新年互礼会シナリオについて
当日のスケジュールについて確認
- (4) 似島小の学校歯科医選定について
石川潔氏の後任に小早川尚史氏を推薦することを承認
- (5) 令和5年度広島市歯科医師等認知症対応力向上研修について
内容について協議
- (6) ホワイトクロス学術講演会について
内容について賛成多数で可決された
- (7) その他
特になし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hirosshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員ひろば

新入会員紹介



岡田信輔

この度、広島市歯科医師会に入会させていただくことになりました岡田信輔(おかだ しんすけ)と申します。

鶴見大学歯学部卒業後、現在に至るまで広島大学先端歯科補綴学教室に14年間在籍しておりました。かねてから、地域医療に貢献したいという気持ちが強くあったため、若輩者ではございますが慣れ親しんだ広島市で開業させていただくこととなりました。開業日は令和5年の12月1日です。

プライベートでは大学時代にバスケットボール部に所属しており、卒業した今も昔からの仲間と楽しく趣味として続けています。

歯科のことについても、地域医療のことについてもまだまだ勉強中の身でありますので、歯科医師会の先生方のご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用の

LINE公式アカウント(非公開)を開設しました。

耳よりな情報を発信しております!!ご登録お願いいたします!!



LINE 公式アカウント
友達募集中!

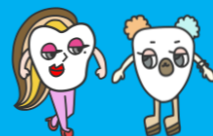


「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。

広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

11月24日配信 令和5年12月31日までに電子情報処理組織の使用による請求を開始していることとしている医療機関等における医療情報・システム基盤整備体制充実加算の特例について(注意喚起)

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。